

国立大学法人 島根大学

財 務 状 況

平成27事業年度



財務部財務課

平成27事業年度貸借対照表の概要

(単位:百万円)

固定資産 54,595	固定負債 23,664
	流動負債 7,526
	純資産 32,658
流動資産 9,253	【内訳】
	資本金 38,772
	資本剰余金 △4,762
	繰越欠損金 △1,351
	前中期目標期間繰越積立金 45
	当期未処理損失 △1,396
	(うち当期総利益) (262)
(資産合計 63,849)	
(負債純資産合計 63,849)	

平成27事業年度損益計算書の概要

経常費用 33,521	経常収益 33,751
	(経常利益 229)
	臨時利益 33
	当期総利益 262

●財務指標

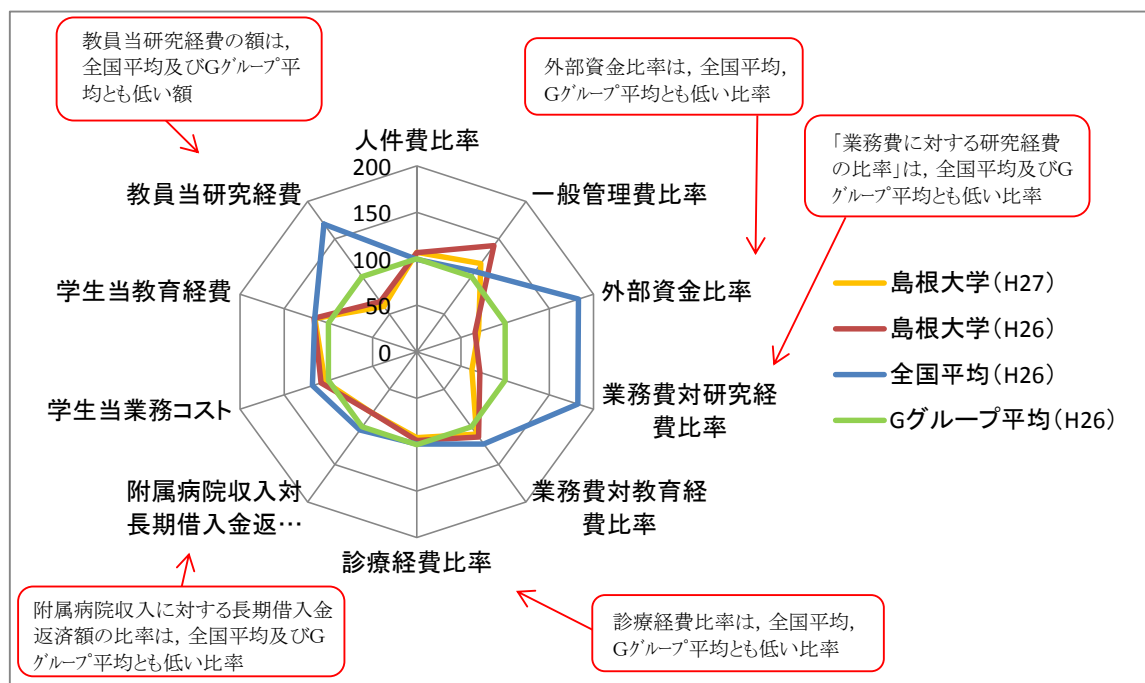
区 分		H25年度	H26年度	H27年度	増減
人件費比率(%) ↓		52.8%	54.0%	54.2%	0.2%
人件費÷業務費	(Gグループ平均)	50.4%	50.7%	%	%
	(全国立大学平均)	49.8%	50.4%	%	%
一般管理費比率(%) ↓		3.6%	4.1%	3.4%	△0.7%
一般管理費÷業務費	(Gグループ平均)	2.8%	2.9%	%	%
	(全国立大学平均)	3.2%	3.1%	%	%
外部資金比率(%) ↑		3.4%	3.5%	3.7%	0.2%
(受託研究等収益＋受託事業等収益＋寄附金収益)÷経常収益	(Gグループ平均)	5.0%	5.3%	%	%
	(全国立大学平均)	9.1%	9.7%	%	%
業務費対研究経費比率(%) ↑		5.0%	4.0%	3.5%	△0.5%
研究経費÷業務費	(Gグループ平均)	6.0%	5.6%	%	%
	(全国立大学平均)	10.8%	10.2%	%	%
業務費対教育経費比率(%) ↑		6.6%	6.0%	5.8%	△0.2%
教育経費÷業務費	(Gグループ平均)	5.5%	5.3%	%	%
	(全国立大学平均)	6.7%	6.5%	%	%
診療経費比率(%) ↓		66.3%	64.6%	62.4%	△2.2%
診療経費÷附属病院収益	(Gグループ平均)	66.0%	67.6%	%	%
	(全国立大学平均)	66.1%	67.1%	%	%
附属病院収入対長期借入金返済比率(%) ↓		6.2%	6.1%	6.1%	0.0%
(長期借入金返済＋財務経営センター納付金)÷附属病院収入	(Gグループ平均)	7.8%	7.5%	%	%
	(全国立大学平均)	8.1%	7.8%	%	%
学生当業務コスト(千円) ↑		2,033	2,082	1,998	△ 84
業務コスト÷学生数(*1)	(Gグループ平均)	1,761	1,925		
	(全国立大学平均)	2,150	2,270		
学生当教育経費(千円) ↑		324	307	304	△ 3
教育経費÷学生数(*1)	(Gグループ平均)	262	264		
	(全国立大学平均)	300	305		
教員当研究経費(千円) ↑		1,997	1,604	1,451	△ 153
研究経費÷教員数(*2)	(Gグループ平均)	2,470	2,412		
	(全国立大学平均)	4,180	4,098		

*1 「学生数」とは、学部生、修士、博士、専門学位を指します。(5月1日現在)

*2 「教員数」とは、平成25年度は、常勤教員(任期付を含む)の現員(5月1日現在)を指し、平成26年度以降は、附属明細書「(18)役員及び教職員の給与の明細」における常勤教員(任期付を含む)に係る給与の年間平均支給人員数を指します。

注) ↑は値が大きい(高い)ほうが望ましい。また、↓は値が小さい(低い)ほうが望ましい。

Gグループとは、医科系及びその他の学部で構成し、学生収容定員が1万人未満、学部数が10学部未満の国立大学で、**25大学**が属しています。(弘前、秋田、山形、群馬、富山、金沢、福井、山梨、信州、岐阜、三重、鳥取、**島根**、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、琉球)



★ Gグループの平均を100とした場合の割合(速報値として、島根大学のみH27年度数値でも比較)
(文部科学省資料「国立大学法人平成26事業年度財務諸表(データ集)」より抜粋)

平成27事業年度財務諸表の概要

①貸借対照表

★財政状態について、平成27事業年度末における全ての資産、負債及び純資産（資本）を示したものです。

(単位:百万円)				
資産の部	H26年度末	H27年度末	増減	
〔固定資産〕	56,805	54,595	△ 2,210	
土地	17,869	17,869	0	
建物・構築物	50,696	51,161	465	
機械・備品	18,540	19,468	927	
図書	3,774	3,796	22	
減価償却累計額	△ 35,620	△ 39,038	△ 3,417	
その他	1,545	1,338	△ 207	
〔流動資産〕	8,661	9,253	592	
現金・預金	5,149	5,450	300	
未収入金	3,157	3,420	262	
有価証券	100	99	0	
その他	253	283	29	
資産合計	65,466	63,849	△ 1,617	

(単位:百万円)				
負債の部	H26年度末	H27年度末	増減	
〔固定負債〕	24,968	23,664	△ 1,303	
資産見返負債	6,909	7,074	165	
借入金	16,934	15,762	△ 1,172	
その他	1,124	827	△ 297	
〔流動負債〕	7,487	7,526	39	
運営費交付金債務	721	0	△ 721	
寄附金債務	1,439	1,433	△ 6	
借入金	1,052	1,172	119	
未払金	3,157	3,744	587	
その他	1,116	1,176	59	
負債合計	32,455	31,191	△ 1,264	
純資産の部	H26年度末	H27年度末	増減	
資本金	38,772	38,772	0	
資本剰余金	△ 4,146	△ 4,762	△ 615	
利益剰余金(繰越欠損金)	△ 1,614	△ 1,351	262	
前中期目標期間繰越積立金	45	45	0	
当期末処理損失	△ 1,659	△ 1,396	262	
(うち当期総利益)	△ 267	262	530	
純資産合計	33,010	32,658	△ 352	
負債・純資産合計	65,466	63,849	△ 1,617	

松江キャンパス学生食堂(ソーニョ)及び医学部実習棟改修等の整備による増

医学部附属病院X線血管撮影装置(循環器パイプレンシステム)、脳深部刺激療法による機能的神経外科治療システム、松江キャンパス学生食堂(ソーニョ)及び医学部実習棟改修その他機械設備等の教育、研究、診療に係る設備費の増

償却資産の増に伴う減価償却費の進捗による増(船舶、車両運搬具を含む有形固定資産)

「その他」は、船舶、車両運搬具、建設仮勘定、投資有価証券(国債)等が含まれます。主な要因は、医学部附属病院 外来・中央診療棟3階産科・婦人科改修工事に伴う建設仮勘定の増の反面、ソフトウェア減価償却費の進捗による増及び投資有価証券(国債)の減

期末の現預金残高を示します。主な要因は、未払金の増

未収学生納付金、未収附属病院収入、その他が含まれます。未収附属病院収入(255百万円増)が主な要因

「その他」は、主に医薬品、診療材料等のたな卸資産の増

運営費交付金等により償却資産を取得した場合、資産の計上額と同額を運営費交付金債務等から振り替えるもので、その後、減価償却費計上の際、収益に振り替え計上

附属病院改修整備、学生寄宿舎の整備のための借入金償還

「その他」は、長期リース債務及び退職給付引当金で、リース債務について、1年以内の返済に係るものについては「流動負債」に計上

貸借対照表
資産合計＝負債・純資産合計

平成27年度は、業務達成基準適用事業による繰越は無く計画のとおり執行。なお、第2期中期目標期間(平成22～27年度)の最終事業年度の決算に当たるため、学生定員未充足及び入学定員超過分32百万円は、全額を臨時利益に計上

平成27年度に支払義務が発生した経費で、期末に支払いに至っていない経費

「その他」は、預り補助金等、短期リース債務などが含まれています

主として施設費財源による固定資産相当額14,440百万円、資本剰余金の増212百万円、「損益外減価償却累計費」として特定資産の減価償却費相当額△828百万円

・前中期目標期間繰越積立金は、承継剰余金相当額45百万円を計上

・「当期総利益」は、次頁の損益計算書のとおり262百万円を計上していることから、「当期末処理損失」は△1,396百万円を計上

注) 各金額は百万円未満の端数を切り捨てていますので、計は一致しない場合があります。

②損益計算書

★平成27事業年度における国立大学法人島根大学の運営状況について示したものです。

	(単位:百万円)		
	H26年度	H27年度	増減
経常費用			
業務費	31,219	32,188	969
教育経費	1,881	1,864	△ 16
研究経費	1,262	1,142	△ 120
診療経費	10,220	10,618	398
教育研究支援経費	378	378	0
受託研究費・受託事業費	606	728	121
人件費	16,870	17,456	586
一般管理費	1,273	1,095	△ 178
その他	326	237	△ 89
経常費用合計(A)	32,820	33,521	701
経常収益			
運営費交付金収益	9,965	10,216	251
授業料・入学金・検定料収益	3,754	3,714	△ 40
施設費・補助金等収益	529	458	△ 70
附属病院収益	15,810	17,009	1,198
外部資金等収益	1,152	1,256	103
資産見返負債戻入	903	703	△ 200
その他	433	393	△ 40
経常収益合計(B)	32,549	33,751	1,202
経常利益(経常損失)(C)=(B)-(A)	△ 271	229	500
臨時損失(D)	0	0	0
臨時利益(E)	3	33	29
当期純利益(当期純損失)(F)=(C)-(D)+(E)	△ 267	262	530
目的積立金取崩額(G)	0	0	0
当期総利益(当期総損失)(H)=(F)+(G)	△ 267	262	530

注)各金額は百万円未満の端数を切り捨てていますので、計は一致しない場合があります。

損失処理の財源

●注記事項について

平成27年度は、土地の譲渡等はなく、資本金の増減はありません。

③損失の処理

平成26事業年度の損失処理

(単位:百万円)

I 当期末処理損失	1,659
当期総損失	267
前期繰越欠損金	1,392
II 損失処理額	—
III 次期繰越欠損金	1,659

※国立大学法人会計基準において、当期末処理損失は、毎事業年度、積立金(目的積立金が残っている場合は当該目的積立金を含む。)を減額して整理し、なお、不足がある場合は繰越欠損金として整理することになっています。
(本年度の未処理損失について補填する目的積立金を本学は有していません。)

損失の処理に関する書類(案)

(単位:百万円)

I 当期末処理損失	1,396
当期総利益	262
前期繰越欠損金	1,659
II 損失処理額	
前中期目標期間繰越積立金取崩額	45
III 次期繰越欠損金	1,351

※平成27事業年度は、第2期中期目標期間(平成22～27年度)の最終事業年度の決算となります。国立大学法人会計基準において、前中期目標期間繰越積立金が残っていた場合は損失に充当することとなります。

④キャッシュ・フロー計算書

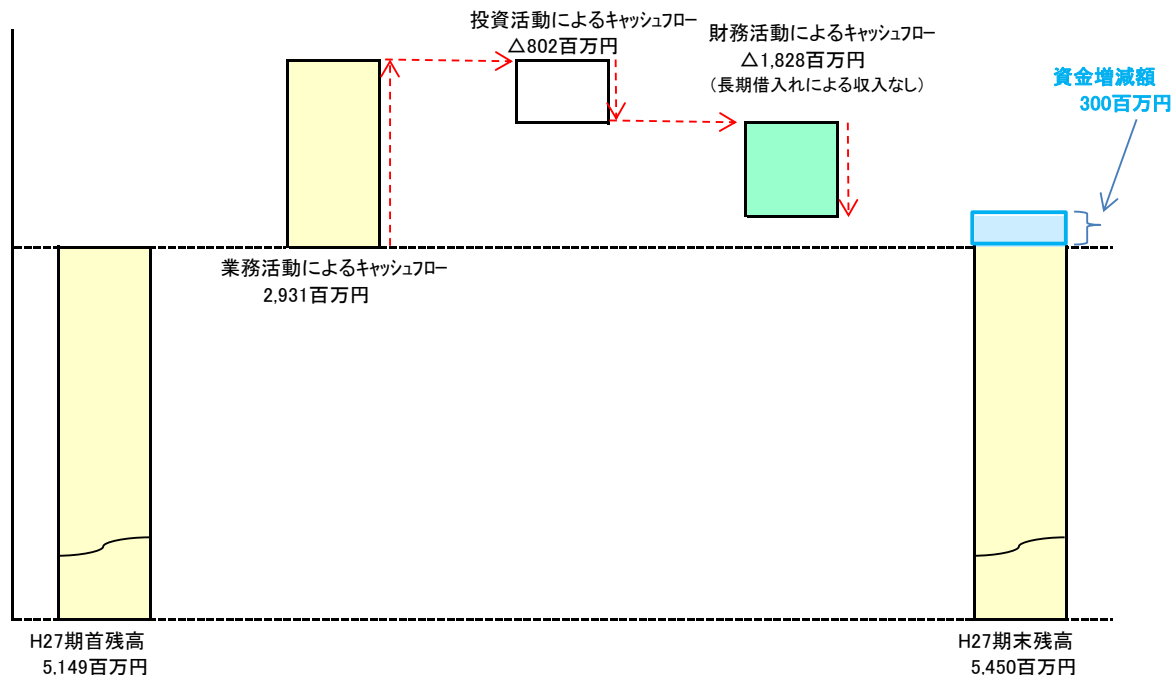
★業務活動によるキャッシュ・フロー:教育, 研究, 診療等の実施にかかる収入・支出です。

★投資活動によるキャッシュ・フロー:固定資産の取得等, 将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動です。
例えば, 有形固定資産・無形固定資産の取得による支出, 施設費による収入などです。

★財務活動によるキャッシュ・フロー:資金調達及び返済にかかるキャッシュ・フローです。

例えば, 国立大学財務・経営センターからの長期借入金による収入, 長期借入金の返済支出, 国立大学財務・経営センター債務負担金の返済支出などです。

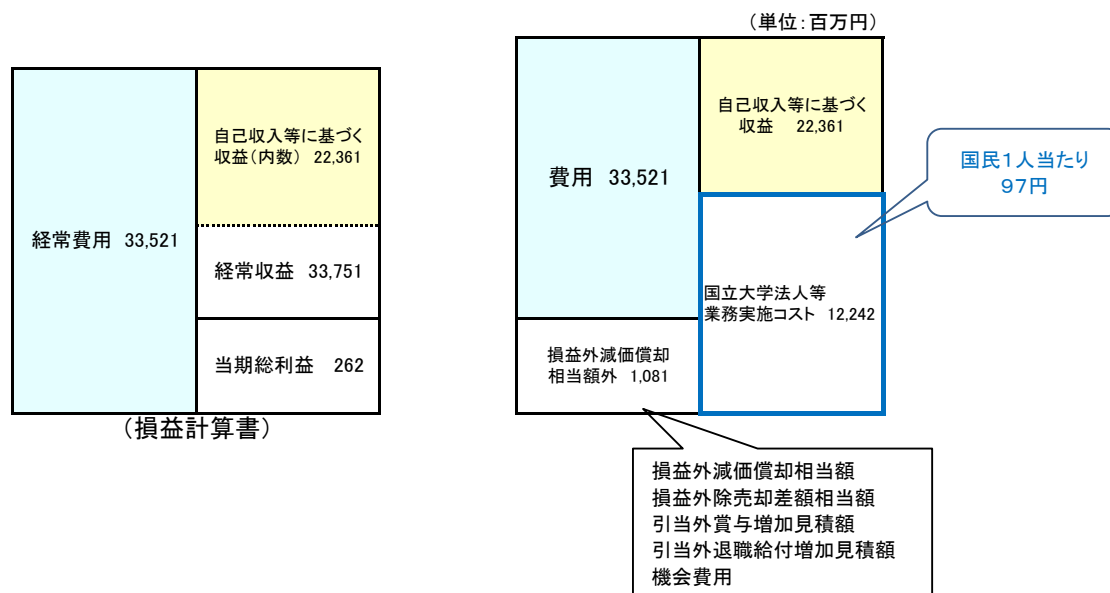
【キャッシュフロー計算書のイメージ】



⑤国立大学法人等業務実施コスト計算書

★国立大学法人の業務運営に関して国民が負担するコストを集約し, 情報開示の徹底を図り, 納税者である国民の国立大学法人等における業務に対する評価・判断に資するためのものです。

【国立大学法人等業務実施コスト計算書のイメージ】

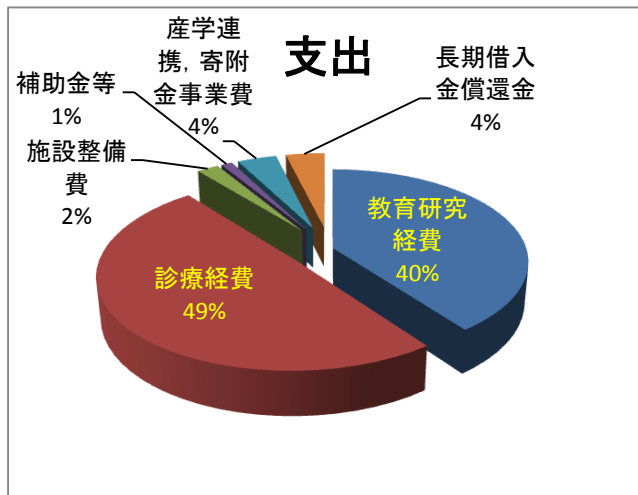
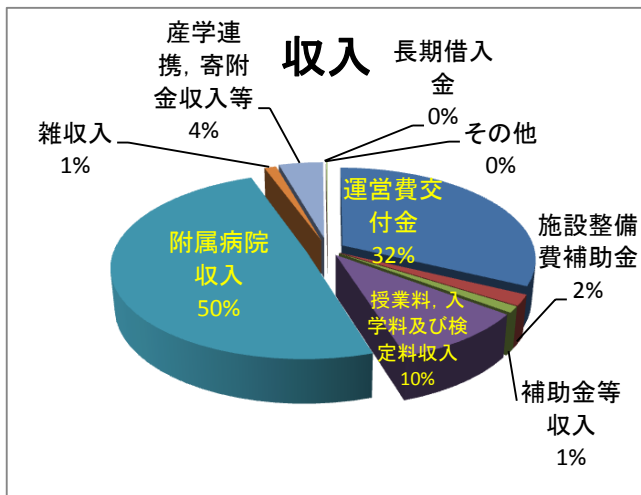


⑥決算報告書

●決算報告書

決算報告書は、発生主義の会計認識により減価償却費等が計上される財務諸表とは異なり、現金主義を基本とした国の会計認識基準により、年度計画予算と決算額を比較したものです。

平成27年度決算



教育に関する状況

●教育関係経費

学生1人当たりの教育関係経費 99万円

教育関係経費(6,089百万円)／学生数(6,125人)

学生の教育に要した教育関係経費は、教育経費約18億64百万円、教育研究支援経費約1億89百万円及び教員人件費約40億36百万円となっています。
注1.教育研究支援経費及び教員人件費は、教育と研究に区分することが困難なため、それぞれ半分を教育関係経費としています。
注2.財務指標「学生当教育経費」(2頁に記載)は、教育経費のみの費用で人件費等は考慮していない指標です。
(参考)学部学生の年額授業料:535,800円

●入学科・授業料免除

授業料免除の割合 10.5%

授業料免除額(335百万円)／授業料収益(3,184百万円)

本学では、入学科や授業料を免除する制度を設けています。本学における免除制度には、経済的理由等による免除、成績優秀者に対する免除、正課外活動優秀者に対する免除及び法科大学院学生に対する特別免除があります。
平成27年度においては、入学科約5百万円、授業料約3億35百万円を免除しました。

●図書

学生1人当たりの図書 61万円
153冊

図書(941千冊, 3,797百万円)／学生数(6,125人)

図書冊数及び学生数は、それぞれ平成28年3月31日、平成27年5月1日現在の数です。

研究に関する状況

●研究経費

教員1人当たりの研究経費 145万円

研究経費(1,142百万円)／教員数(787人)

運営費交付金・寄附金・自己収入等を財源とする本学の研究経費は、総額は約11億42百万円です。
注)研究経費には、消耗品・備品費、旅費交通費、水道光熱費、減価償却費等が含まれています。

●教育研究支援経費

教員1人当たりの教育研究支援経費 48万円

教育研究支援経費(378百万円)／教員数(787)

教育研究支援経費は、附属図書館、大型計算機センター等の特定の学部等に所属せず、法人全体の教育及び研究の双方を支援するために設置されている施設の運営に要する経費で、総額は約3億78百万円です。

●受託研究・受託事業経費

教員1人当たりの受託研究・受託事業経費 92万円

受託研究・受託事業経費(728百万円)／教員数(787人)

受託研究費約5億37百万円、受託事業費約1億90百万円の合計7億28百万円です。
注)これらの経費には、消耗品・備品費、人件費、水道光熱費、減価償却費等が含まれています。

※「教員数」は、前年度までは、常勤教員(任期付を含む)の現員(5月1日現在)の人数を記載していましたが、財務指標「教員数」(2頁に記載)が、平成26年度以降は、附属明細書「(18)役員及び教職員の給与の明細」における常勤教員(任期付を含む)に係る給与の年間平均支給人員数に変更したことから、平成27年度からこの基準による人数としています。

科学研究費補助金の受入状況

(単位:百万円)

区 分	H26年度	H27年度	増減
件 数	387件	388件	1件
直接経費	418	401	△ 17
間接経費	117	114	△ 3
計	536	516	△ 20

※科学研究費補助金のうち直接経費は、研究者個人への交付であり「預り金」として処理していることから、財務諸表には計上されません。

大学改革推進等補助金(文部科学省)の受入状況

(単位:百万円)

区 分	H26年度	H27年度	増減
件 数	5 件	6 件	1件
補助金受入額	409	285	△123

※文部科学省では、大学等が実施する教育改革の取組の中から、優れた取組を選び、支援するとともに、その取組について広く社会に情報提供を行うことにより、他の大学等が選ばれた取組を参考にしながら、教育改革に取り組むことを促進し、大学教育改革をすすめています。

なお、研究拠点形成費等補助金(未来医療研究人材養成拠点形成事業)及び国立大学改革強化推進補助金(優れた若手研究者の採用拡大)を含めています。

管理に関する状況

●人件費

人件費比率	54.2%
人件費(17,456百万円)／業務費(32,188百万円)	

人件費は約174億56百万円で、前年度と比較すると5億86百万円増額しています。増額の主な要因は、早期退職者の増等による退職手当の増及び国家公務員の給与の改定に伴う措置等によるものです。

なお、退職手当が見込みより175百万円増加し、本学の自己資金で立替支給したことに伴う費用が発生しています。

(単位:百万円)

区 分			H26年度	H27年度	増減
役 員	給与等	常 勤	107	106	0
		非常勤	2	2	0
	退職給付		136	0	△ 136
	小 計		245	109	△ 136
教 員	給与等	常 勤	7,156	7,199	43
		非常勤	371	392	21
	退職給付		357	479	122
	小 計		7,884	8,072	187
職 員	給与等	常 勤	7,625	7,886	261
		非常勤	708	758	50
	退職給付		406	629	223
	小 計		8,739	9,274	534
給与等計		常 勤	14,888	15,192	304
		非常勤	1,081	1,154	72
退職給付計			900	1,109	209
合 計			16,870	17,456	586

●一般管理費

一般管理費比率	3.4%
一般管理費(1,095百万円)／業務費(32,188百万円)	

一般管理費は約10億95百万円で、前年度と比較すると約178百万円減額しています。

これは、修繕費及び移設撤去費の減(前年度は大学本部棟改修実施)、委託費の減(前年度はPCB廃棄物処理等の事業を実施)及び水道光熱費の減に伴う費用の減が主な要因です。

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努めています。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

【大学改革推進等補助金(文部科学省)による事業】

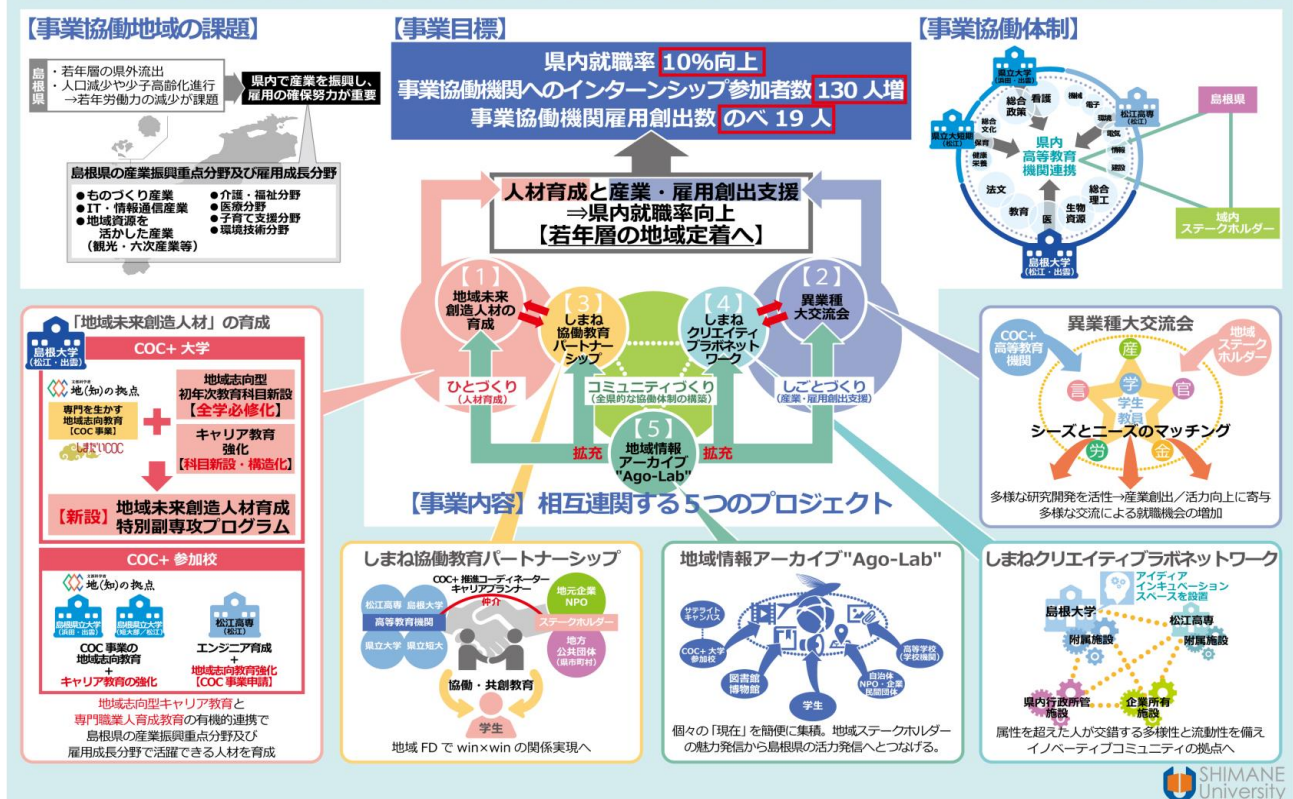
平成27年度に新たに採択になった事業の取り組み内容です。

★地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

事業名:地域未来創造人材の育成を加速するオールしまね協働事業

島根県全体の活力向上と地方創生に貢献するため、島根県内の高等教育機関が行政・企業・NPO法人等と連携し、【地域未来創造人材の育成】【魅力ある地域産業・雇用の創出支援】に取り組んでいます。

地域未来創造人材の育成を加速するオールしまね協働事業



松江キャンパス学生食堂(ソーニョ)の整備

建物の耐震改修は、平成28年1月29日に完成しました。

LED照明・ガス空調等の採用により省エネルギー対策を施し、衛生環境にも配慮すると共に自主的学習スペースとして活用可能な空間を構築しました。



外観(南面)

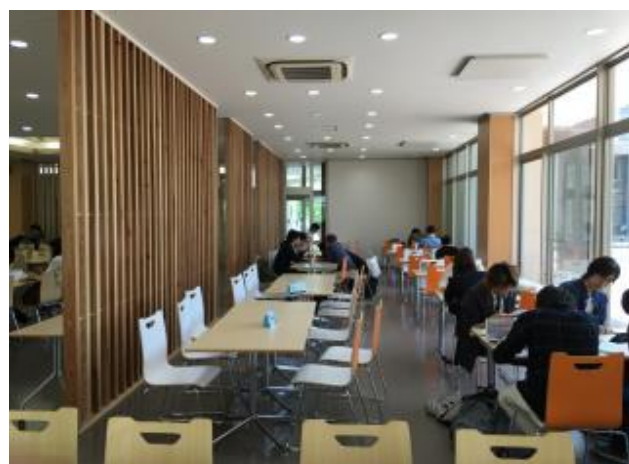


外観(南西面)

【バリアフリー化など屋外のスペースも整備しています】



学生食堂内観



【教育研究活動に対応できる学修スペースを計画・設計のうえ整備しています】

医学部実習棟の整備

豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成を行います。

建物の耐震改修は、平成28年3月31日に完成しました。

次世代を担う高度医療人と地域医療人の育成のための実践的な実習環境を創出し、高度な医療機器を活用した実習室を整備しました。

また、少人数グループによるチュートリアル教育環境の整備により、課題解決型学習による能動的な学習環境を構築しました。



医学部実習棟の耐震改修
を行いました。

【外観(南東面)】



【外観(南西面)】



【実習棟の内観(実習室)】



【実習棟の内観(ラウンジ)】

診療及び診療環境の基盤整備に関する状況

●附属病院セグメント情報

(単位:百万円)

区 分	H26年度	H27年度	増減
教育・研究経費	266	310	43
診療経費	10,220	10,618	398
受託研究・事業費等	107	145	38
人件費	7,714	8,329	615
一般管理費	202	202	0
その他(財務費用, 雑損)	303	215	△ 88
業務費用計	18,814	19,821	1,006
運営費交付金収益	1,887	2,518	630
附属病院収益	15,810	17,009	1,198
受託研究・事業等収益	107	147	39
寄附金収益	84	72	△ 12
その他(財務収益, 雑益等)	584	443	△ 141
業務収益計	18,476	20,191	1,714
臨時利益	3	0	△ 3
当期総利益(当期総損失)	△ 334	369	704

注)各金額は百万円未満の端数を切り捨てていますので、計は一致しない場合があります。

●診療に関する情報

区 分	H26年度	H27年度	増減
入院患者延数(人)	185,818	193,090	7,272
外来患者延数(人)	240,382	256,525	16,143
平均在院日数(日)	15.3	14.4	△ 0.9
医療費率(%)	34.2	34.6	0.4

注)医療費率=(医薬品費+診療材料費)÷診療報酬請求額

★診療費用請求額単価

(単位:円)

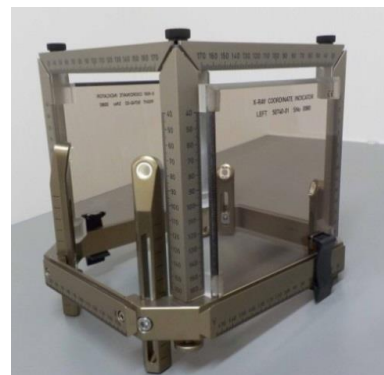
区分	H26年度	H27年度	増減
入院	65,555	66,833	1,278
外来	15,329	16,192	863

【平成27年度に配備した主な設備】

平成26年度からの業務達成基準適用事業「附属病院高度医療推進整備事業」により配備しました。



X線血管撮影装置
(循環器ハイプレシステム)



3D内視鏡外科手術システム

リースにより配備しました。



**脳深部刺激療法による
機能的神経外科治療システム**